

総務部長（竹内正隆君）

消防水利及び住宅密集地の防火対策についてお答えをいたします。

初めに、本火災の消防水利についてであります。消火栓、防火水槽及び中村用水を使用したことにより水量は十分確保できており、消火栓の水圧低下もなく、問題はなかったというふうに認識をしております。

また、辰巳町を含めた市内住宅密集地の消防水利の設置状況につきましては、全て消防法の基準に沿ったものとなっており、施設の点検や状況確認は消防署で定期的に行っております。

今回の火災を教訓といたしまして、道路も含めた狭隘の地区における消防活動につきましては、今後、常備、非常備消防による連携により各隊が効果的に機能するよう現場対応力の向上に努めていきたいと考えております。

さらに、町内会や自主防災組織などに対し水利状況を踏まえた初期消火訓練等の実施を呼びかけるなどし、防火指導の徹底を図ってまいりたいと考えております。

いずれにいたしましても、防火対策において何よりも重要なことは未然の予防活動であります。今後とも各種団体が連携した巡回広報やイベント等による火災予防の啓発に加え、逃げおくれ防止のための住宅用火災報知器のさらなる普及促進にも努めてまいりたいと考えております。

以上であります。